

受章おめでとうございます

このたび、元大正町議会議員の今城保男氏、元十和村助役の伊賀正和氏が、
地方自治功勞者として「旭日双光章」を受章され、伝達式が行われました。

故 今城 保男 氏 (大正・満85歳)

氏は、昭和55年から平成16年までの6期23年余の長きにわたり旧大正町の議員として在職し、在職中は、議長、副議長、産業建設常任委員長、総務常任委員長などの要職を歴任し旧大正町の教育、文化の振興、住民福祉の向上に尽力するなど、住民の代表として誠心誠意職務を全うされたその功績が認められ、今回受章されたものです。



今城保男氏の長男
今城 朗さん

故 伊賀 正和 氏 (十和・満83歳)

氏は、昭和28年昭和村に奉職して以来、約38年間にわたり地方自治の発展に貢献し、その間住民課長、国民健康保険十和診療所事務長、総務担当参事などを歴任され、また、平成3年9月から平成7年9月までの4年間は十和村助役を務められるなど、村長の補佐役として地域の発展のために献身的に尽力したその功績が認められ、今回受章されたものです。



高知県副知事
岩城 孝章
伊賀正和氏の長男
伊賀 輝典さん

中止のお知らせ

第26回 四万十川ウルトラマラソン

今年の大会を10月18日(日)開催予定で準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症の全国での感染拡大の影響で、誠に残念ですが中止にすることとなりました。

未だに終息が見えない状況の中、全国各地から参加されるランナーや応援の方、大会を支える約1800人のボランティアの皆さんの感染防止対策が難しいこと、また新型コロナウイルス感染の拡大防止に伴う企業の営業自粛などの影響で、個人消費や生産、輸出などが悪化している状況では、大会に協賛していただけるスポンサーの確保が難しいことが想

定され、このような状況では大会開催は困難と判断しました。本大会は、町民の方をはじめとした、ボランティアの方々のご協力によって開催されており、皆さまのご支援が大会運営には欠かせません。つきましては、来年こそは開催できるよう、準備を進めていきますので、今後とも変わらぬご協力をよろしくお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】
十和 町民生活課 ☎28-5112



季節の風景 6月

時の記念日

私たちが生活していくうえで、欠かせないものの一つに「時」があります。「時」があるから、人はさまざまなことを考えて生活をしていけるのです。「今日は暇だなあ」と思っても、「忙しくて時間が足りない!」と思っても、一日は二十四時間です。

「時の記念日」は、大正九年(一九二〇年)に東京天文台(現在の国立天文台)と財団法人・生活改善同盟会によって「時間を正確に守り、欧米並みに生活の改善・合理化を図ろう」ということから制定されました。

日本書紀に「天智天皇十年四月二十五日の項に、漏刻(水時計のこと)を新しき台に置く。初めて候時を打つ。鐘鼓を動す」とあります。「天智天皇十年四月二十五日」を、現在のグレゴリオ暦に換算すると六十七年六月十日となります。日本で初めて設置した漏刻が時を刻み、鐘を打ち鳴らしたことを記念して、六月十日を「時の記念日」に制定したそうです。時間は誰にも平等に与えられた二度と戻すことのできない、とても大切なものだということを、「時の記念日」をきっかけに改めて考えるのもいいかもしれませんね。

時の日を麦の穂に乗る雀達

秋元不死男



今月の



底なしの好奇心と行動力!

今月は、先月号の中川さんとともに地域おこし協力隊として、十和地域の農業振興に努める藤田さんをご紹介します。昨年9月に着任された藤田さんは、愛媛県西条市のご出身。西条なら近いね」と皆さん思われるでしょうけど、ここに至るまでの道のりはすごい!



▲農業支援組織「農楽里」で苗の準備!

西条市の中学校から新居浜工業高校へと進学。高校卒業後は新潟県にある「醸造学」を学ぶことができる専門学校へ。実は中学校時代にインターンシップで酒造会社に行ったことが、高校卒業後の進路を決めることに

なったのです。インターンシップで醸造の歴史を調べているうちにワインに興味を持った藤田さんは、ぶどうの出来次第でワインの味が左右されることを知り、このことがずっと頭に残っていた藤田さんは、専門学校を卒業した後「ワイナリーでぶどう栽培を手伝いたい!」と、ニュージーランドへ渡ります。ワイナリーを見つけてはメールや電話で思いを伝えたそうです。「片っ端からアタックしましたが、英語がダメなのでなかなか思うように伝わらず、ことごとく断られました」として、なんとかOKをくれたところが1か所だけあり、そこで2か月間働くことができた。その後、藤田さんの興味はぶどうにとどまらず、農作物全般へと思いが広がります。今度は現地の農家に飛び込んで農作業のアルバイトに精を出しました。そんなニュージーランドでの生活の中で出会った世界中のバックパッカーたちは、その後の藤田さんの生き方に大きな影響を与えました。



ふじた みらい
藤田 未来さん
(十川)